

第11回「美の里（びのさと）づくりコンクール」

～みなさんの「むらづくり」を応援します～

応募方法について！

1. 「美の里づくりコンクール」とは

美の里づくりコンクールは、地域の自主的努力による「美の里づくり」の優れた活動事例を表彰するとともに、あわせてこれら優良事例の普及を図ることで、国民共有財産である農山漁村の美しい景観の形成の推進及び都市と農山漁村の交流の促進に資することを目的として、(一財)農村開発企画委員会の主催、農林水産省の後援で実施しています。

2. 応募対象

美しい農山漁村を守り育てる活動や取組をしている団体(複数団体の共同も可)を対象とします。

また、団体をバックアップしていただいている都道府県及び市町村、または他の団体からの推薦も受付いたします。

3. 賞の内容

農林水産大臣賞(1点)、農村振興局長賞(2点)、美の里づくり審査会特別賞(3点)

4. 応募方法

指定の応募用紙に必要事項を記入し、写真を添付の上ご応募下さい。なお、応募用紙の電子ファイルは「美の里づくりコンクールホームページ(<http://www.rdpc.or.jp/>)」からダウンロードできます。

応募は、コンクール事務局である(一財)農村開発企画委員会までお送り下さい。

5. 応募期間

平成27年12月10日(木)～平成28年1月29日(金)まで

6. 審査、結果の公表、表彰等のスケジュール

平成28年1月29日(金)	応募締め切り
平成28年2月	審査(書類審査、必要に応じて現地調査など)
平成28年3月～4月	表彰式典の開催(予定)

7. 審査の方法

有識者によって構成される美の里づくり審査会において、以下のような審査基準に照らし審査します。

(1) 美の里づくりを通じた美しい農山漁村の景観の総合的な保全・形成への寄与

地域住民等が参加した個性あるむらづくりを通じて、農林漁業の振興、生活環境の保全、都市住民との交流、伝統文化の継承、地域経済の活性化など、地域に根ざしたむらづくりを展開し、地域の美しい景観の総合的な保全・形成に貢献していること

(2) 多様な主体の参画による美の里づくり

農林漁業者と地域住民、NPOなど多様な主体が参画し、むらづくりについての合意形成を図るなど、その活動に一体性・継続性が認められること

(3) 地域資源を活かした美の里づくり

農地、水、里山、農業用施設、伝統的歴史的施設などの地域資源を活用し、新しい視点や斬新なアイデアなどによるむらづくりに取り組み、自然環境・生活環境・伝統文化と調和した良好な景観を保全・形成し、又は醸し出していること

(4) 美の里づくりを通じて「得たもの」

農山漁村ならではの地域資源や景観等を活用し、都市住民等と活発な交流を行うなど、むらづくりの取り組みを通じて地域の人々が「得たもの」が明確になっていること

8. 美の里づくり審査会

以下の7名の審査委員が審査をします。

絹谷 幸二	(審査委員長)	画家・東京藝術大学名誉教授
沼田 早苗		写真家
浜 美枝		女優・農政ジャーナリスト
船山 龍二		株式会社ジェイティービー相談役
宮口 侗迪		早稲田大学教授
アダム・フルフォード		フルフォード・エンタープライズCEO
山本 徹		一般財団法人農村開発企画委員会理事長

美しい農山漁村づくりに取り組む皆様からのご応募・ご推薦を心よりお待ちしております。

応募方法や過去の受賞地区についてはこちらをご覧ください!!

<美の里づくりコンクール ホームページ <http://www.rdpc.or.jp/>>

お問い合わせ:一般財団法人農村開発企画委員会 美の里づくりコンクール事務局 担当:落合

〒104-0033 東京都中央区新川2-6-16馬事畜産会館4階 TEL.03-3297-5641 FAX.03-3297-5543 E-mail: m_ochiai@rdpc.jp